

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【公開番号】特開 2018-108338 (P2018-108338A)
 【公開日】平成 30 年 7 月 12 日 (2018.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-026
 【出願番号】特願 2017-178354 (P2017-178354)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/49 3 1 2 Z

A 6 1 F 13/49 4 1 0

A 6 1 F 13/49 3 1 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 6 月 5 日 (2020.6.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 8】

おむつ 1 では、図 3 に示すように、本体側シート 3 2 は 1 枚の連続したシートから構成されているのに対し、外面側シート 3 1 は複数枚のシートが組み合わされて構成されており、具体的には、腹側領域 A を構成する腹側外面側シート 3 1 A と、背側領域 B を構成する背側外面側シート 3 1 B と、両シート 3 1 A , 3 1 B 間に位置して股下領域 C を構成する股下外面側シート 3 1 C とを含んで構成されている。外面側シート 3 1 を構成する各シート 3 1 A , 3 1 B , 3 1 C は、それらの縦方向 X の端部どうしが重ね合わされ、その重ね合わせ部分において接着剤、ヒートシール、高周波シール、超音波シール等の公知の接合手段によって互いに接合され一体化されている。シート 3 1 A , 3 1 B とシート 3 1 C との重ね合わせ部分においては、それぞれ、縦方向 X の中央に位置するシート 3 1 C が吸収性本体 2 から相対的に近い側に位置し、シート 3 1 C の縦方向 X の両端部の非肌対向面はシート 3 1 A , 3 1 B で被覆されている。